

市立幼稚園の認定こども園移行について

市立幼稚園の認定こども園化については、子ども・子育て支援事業計画において、3歳児保育の実施や保育が必要な3～5歳の待機児童解消、地域の子育て支援充実のため、中学校区に1園の整備を行うとしています。

しかしながら、7月の子ども・子育て会議で報告しましたとおり、保育所の待機児童数については、平成27年4月に360人の受け入れ枠を増加したにもかかわらず、事業計画策定時の見込みより大変多い状況となっており、市としては、平成29年度の待機児童解消に向けて、私立保育所の新設等を優先的に促進する必要があると考えています。

このようななか、現在、私立保育所や認定こども園等の新設、既存の私立施設の認定こども園への移行の協議を行っているところです。

また、子ども・子育て支援事業計画の実現にあたっては、相当の財源と体制が伴いますが、上記によりさらなる財源を確保しなければならず、施設の再構築については、将来にわたって影響を及ぼすことから、中長期的な視点でも検討する必要があります。

さらに、将来人口について、現在策定中の「明石市人口ビジョン」において、地方創生の取組効果を加味した中長期的な目標人口が示され、子ども・子育て支援事業計画の策定時の人口推計より多くなるものと予想されます。

こうしたことから、1つの中学校区につき1つの幼稚園を認定こども園に移行するという方針には変更はないものの、市立の幼稚園、保育所、認定こども園の中長期的なあり方について、今後見込まれる財源や体制、民間施設の動向、新たな人口推計、保育等のニーズの精査などを踏まえ、公民の役割分担、民間活力の導入も含めて、検討を行う必要があります。

そのため、認定こども園へ移行する幼稚園名や実施時期については、上記のあり方も見据えながら、今後、子ども・子育て会議などに提案させていただき、ご意見を伺いたいと考えています。

【参考】

1 明石市子ども・子育て支援事業計画における平成27年度の計画と実績との差異

3号認定において、入所児童、待機児童とも、事業計画の数字と大きな差異が出ている状況である。とりわけ、待機児童については、事業計画では53人の予想であったが、9月1日現在では、177人となっており、事業計画と124名の差異が出ている状況である。

(単位：人)

	2号認定（3～5歳）			3号認定（0～2歳）		
	計画	9/1 実績	計画との差異	計画	9/1 実績	計画との差異
入所児童	3,092	3,051	▲41	2,010	1,936	▲74
待機児童	105	57	▲48	53	177	124

2 明石市子ども・子育て支援事業計画策定時の就学前人口推計と現状の差異

子ども・子育て支援事業計画を策定する際に行った就学前人口の推計では、今年度の就学前人口（0～5歳）は15,727人であったが、平成27年4月1日現在では、16,016人であり、約300人増加している状況である。

また、将来人口について、現在策定中の「明石市人口ビジョン」において、地方創生の取組効果を加味した中長期的な目標人口が示され、子ども・子育て支援事業計画の策定時の人口推計より多くなるものと予想されます。

年齢区分	実績 (H27.4.1)	子ども・子育て支援事業計画				
		H27	H28	H29	H30	H31
0歳	2,634	2,593	2,568	2,547	2,532	2,503
1歳～2歳	5,348	5,271	5,264	5,224	5,178	5,143
3歳～5歳	8,034	7,863	7,786	7,817	7,770	7,738
合計(0歳～5歳)	16,016	15,727	15,618	15,588	15,480	15,384
6歳～11歳	15,888	15,766	15,695	15,622	15,656	15,581